

付託された議案・請願等を審査 委員会の

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

建設

9月10日・13日・17日に議案6件、認定2件の審査を行いました。

町田市バイオエネルギーセンター会議室等条例
（センター内に市民が利用できる施設（会議室等）を設置）
委員 地元の方向けに無料利用ということなどは想定しているのか。
資源循環課長 地元の利用については、その他市長の定めるところという条例に基づき、当然想定をしています。
委員 無料利用も可能だということだが、どういったケースを想定しているのか。
資源循環課長 基本的には市民センターに做った形で、一般の利用の場合の減免は定めるようにしています。地元の方への考え方は、周辺の15町内会・自治会の自治会としての利用を地元という利用の範囲として考えているところです。

委員 駐車場の使用料で大型区画とあるが、どういうときに利用されるのか。
資源循環課長 大型区画は、3台分大型バスが止められるスペースが確保されています。恐らく一番多いのは、市内の小学校の社会科見学です。工事期間中は、一時社会科見学の受入れを見合わせていたところですが、新しい工事ができたら積極的に受入れをしていきたいと思っています。それ以外にも行政視察等で、大人数でおいでになるケースも想定し、設定しています。
委員 大型バス3台分だが、子どもたちが社会科見学するときは、減免措置はやるのか。
資源循環課長 社会科見学は、教育の活動の一つで、行政利用と同等という考え方で、料金をいいただくことは想定していません。

文教社会

9月10日・13日・17日・21日に議案9件、請願2件、認定1件の審査を行いました。

町田市立室内プールの指定管理者の指定について
（健康増進温浴施設と室内プールの一体での管理運営）
委員 新しい温浴施設の業者の指定に当たって、最も優れた管理ができるかどうかというところだったが、内容はどういったポイントがあったか。
スポーツ振興課長 室内プールとの一体での管理運営になります。そこで、市民への健康増進に寄与する、各種事業の提供、民間事業者のノウハウを活用した経費の削減もあります。そして、熱回収施設周辺のまちづくりの一環で、地元からの要望もあって実現しているものもありますので、地域への貢献、地元の雇用率も評価の項目としていました。
委員 プロポーザルで募集

したということ、地域の方からの声だが、例えば、近隣の相模原市とか多摩市のプールと比べて、町田市の市民プールの営業時間がもう少し遅いほうがいいという声があるが、プロポーザルの内容とかが、そういう部分で入る余地があったか。
スポーツ振興課長 営業時間は様々な議論もあると思いますが、プロポーザルの中では特にありませんでした。
委員 近年、健康ブームで仕事が終わった後で町田のプールを利用してスイミングをすることを望んでいる方もいるので、検討いただければと思う。
スポーツ振興課長 働く方のやる時間帯として、今は、早朝ではやっているが、交通のアクセスが難しいところもあり、検討課題かと思えます。

決算審査（建設）

認定すべきものと決定

- 道路総務費の人員費について、コロナ禍でのテレワークやIoT技術等の活用等への対応が、職員モチベーションや生産性の向上や危機管理に結びつけられる。これを良い機会としてICT、IoT等のさらなる活用を図りたい。
- カーブミラー設置の予算を十分に確保し、市民からの設置要望に丁寧に相談に乗り、対応されたい。
- 道路維持、修繕については、計画的に今後数年間で要望を限りなくゼロに減らすよう努力されたい。
- 道路施設の維持管理にあたり使用されるグリホサートを主成分とする除草剤について、環境に負荷の少ない、代替薬剤の使用を研究されたい。
- 道路上公共トイレの全トイレ機械警備（警備サービス直結緊急通報ボタン）の設置にとどまらず、さらなる公共トイレの防犯・衛生の向上に取り組まれたい。
- アフターコロナを見据え、モノレール、他の公共交通も含め、様々な可能性について検討されたい。
- 都市の農地が存続できるように取組をさらに進められたい。
- コミュニティバスの運行継続とともに交通空白地区解消及びE-バスに代表されるような地域公共交通の導入検討を積極的に進められたい。
- 道路・街路築造事業について、保有する普通財産・未使用地11筆の土地売りをさらに進められたい。
- 四季彩の杜全体に案内板が少ない。事故防止の上からも早急の整備を図られたい。
- 鶴間公園テニスコートの遮音対策について、引き続き住民の声を聞き、対応されたい。

【認定第2号】

- 国土交通省の実証事業であるB-DASHプロジェクトの成果が上がっている。効率的で健全な下水道事業経営が求められるため、さらに先進的技術の研究・活用を図られたい。
- 下水処理の過程で、河川への流出が一定程度認められるマイクロファイバー（プラスチック）の除去について、国の動向を踏まえ、除去する対策を研究されたい。
- 消毒設備（次亜塩素酸タンク棟・塩素混和池）の耐震補強他工事の入札不調が続いている。施設管理上からも早い段階での入札を推進されたい。

など計28件の意見を附帯決議として付しました。

決算審査（文教社会）

認定すべきものと決定

- コミュニティセンター、市民センターの稼働率の低い夜間等、無料で学習できる環境づくりを検討されたい。
- 体感治安の向上を図るべく、防犯意識の高い地域と認識されるために支援制度の活用に止まらずレベルアップを検討されたい。その一つとして、特殊詐欺被害防止としての自動通話録音機の設置促進補助金交付事業を利用されたい。
- 児童福祉について、申請が不要なものさらなる拡充、申請手続きを要しているものさらなるオンライン申請化を進められたい。
- 待機児童数の地域格差を補正するため、地区ごとの待機児童数の推移を考慮しながら、待機児童数の解消の対策を講じられたい。また、認可保育園の増設や送迎保育ステーション機能など、町田市で行っている事業などを最大限活用しながら効率性・効果的に地区の待機児童対策を講じられたい。
- 保育士の確保、賃金等の待遇改善に取り組まれたい。
- まこちゃん教室については、利用希望者が一人でも多く利用できるよう、今後も事業の拡充に努められたい。
- 子どもセンターばあは改修工事が終了したが、一部改修が不十分と思われる床面があるため、今後対応を検討されたい。
- 新型コロナウイルスの影響により自主防災訓練の開催状況を踏まえ、地域ごとで防災意識格差が起きる可能性がある。各地域と連携し防災意識を維持できるよう、努められたい。
- 防災行政無線の放送内容確認のフリーダイヤルについて、その存在を広く周知し徹底されたい。
- （仮称）国際工芸美術館整備事業について、地域住民及び関係諸団体との協議を行い、より柔軟に対応されたい。
- 小学校給食について、地場産物割合の指標・数値化の導入と、それに対する地元農家・業者の声を聞かれたい。
- コロナ禍における公民館事業の拡充を検討されたい。
- コミュニティ・スクールの仕組みの周知を徹底し、地域と一体となった学校運営を行われたい。
- タブレット端末の活用ステップで、学校間格差、自治体間格差につながらない推進策や取組を、学校教育部主導で推進されたい。
- 国際版画美術館の魅力や企画のPRをさらに工夫し、拡充されたい。

など計57件の意見を附帯決議として付しました。

本会議の質疑から

条例・その他

第72号 町田市葬具使用条例を廃止する条例

議員 条例廃止の背景と内容は。市民への影響は。

地域福祉部長 本条例は、1958年に葬具の使用に關し必要な事項を定め、住民の福祉の増進に寄与することを目的に制定しました。近年は、本事業よりも安価で小規模な葬儀を取り扱う民間の葬祭事業者が増加しています。町田市葬祭事業の利用実績は、2018年度は230件、2019年度は203件、2020年度は175件と、年々減少しています。このような時代の変化に伴い、条例制定当時に掲げた目的は果たされたと考えられるため、本条例を廃止するものです。市民への影響については、町田市葬祭事業を利用する場合、まず、葬祭事業所に連絡し、どのような葬儀にするかご相談をしていただきます。その際、市で保有する祭壇等の備品やシルバール材センターで販売しているひつぎや骨つぼ等の手配は葬祭事業所に対応できますが、ご遺体の搬送や礼状の印刷、生花等の発注は喪家の方がそれぞれ協定事業者にお申し込みいただいています。また、死亡届の提出及び埋火葬許可証の受領も喪家の方が行っています。民間事業者は、より安価もしくは同等の費用で葬儀一式を手配しているため、喪家の負担が少なく済みます。

第88号 町田市立鶴川駅前図書館（図書館運営業務に限る。）の指定管理者の指定について

議員 図書館の専門性、継続性は何によって担保されるのか。

生涯学習部長 司書資格保有者を6割以上とすること、開館時間中は常に資格保有者が2名以上勤務すること、地域資料関連特設コーナーを設置することなどを業務仕様書に記載しています。
議員 図書館の指定管理という点で、図書館の独自性や専門性を反映した選定が行われるのか、様々な意見がこれまであったと思う。そういった点がどのように反映されたのか。

生涯学習部長 図書館の施設の特徴を捉えて、どのような工夫を考へたのかという点と、事業者の公募に当たり、業務仕様書に町田市立図書館が目指す姿や鶴川駅前図書館のサービスの基本的な方向性を具体的に示し、これらにのっとり管理運営を行うことを求めています。事業者を評価する際のポイントにも反映して選考委員会において採点していただいたところですが、例えば、運営能力に関する項目の評価に当たって、他の図書館と連携し、鶴川駅前図書館の特徴を継続しながらサービスを提供できるかといった視点です。また、選考委員会には、図書館情報学を専門とする大学教授を臨時委員としてお招きし、専門家としての視点で評価をしていただきました。